

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2019年6月）

目 次

内 政

◆シンクタンク「Globsec」による地政学等に関する世論調査結果	2
◆政党支持率調査結果	3
◆新大統領就任式	4
◆チャプトヴァー大統領のインタビュー	4
◆キスカ前大統領による新党の設立	5

外 政

◆ペレグリニ首相の訪露	5
◆ラシ副首相のノルマンディー上陸作戦75周年記念式典出席	6
◆康京和・韓国外交部長官のスロバキア訪問	6
◆チャプトヴァー大統領のブリュッセル訪問	6

経 済

◆平均賃金の上昇	7
◆失業率の低下	7

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

内 政

◆シンクタンク「Globsec」による地政学等に関する世論調査結果

当地シンクタンク「Globsec」は、中東欧7か国（V4諸国、オーストリア、ルーマニア及びブルガリア）を対象とした地政学等に関する世論調査の結果報告書を公表した。（各国シンクタンク及び世論調査機関の協力の下、各国1000～1025人を対象に実施。）

スロバキアでは、自国を「西側」に位置させたいと回答した人が23%に過ぎず、調査対象国の中ではブルガリア（18%）に次いで低く、「中間」に位置させたいと回答した人が46%に上った。自国の価値がEUと一致していると回答した割合は62%である一方で、ロシアと一致していると回答した割合も35%に上った。また、ブルガリアと並び、NATOへの残留を望む人の割合が56%であり対象国中で最も低く（スロバキアとブルガリア以外では80%以上）、米国が自国にとって脅威であると回答した人が41%に上り、調査対象国の中では最も高かった。

（自国を「西側」、「東側」あるいは「中間」に位置させたいと回答した割合）

- ハンガリー : 西側45%、中間47%、東側4%
- ポーランド : 西側42%、中間48%、東側1%
- オーストリア : 西側42%、中間34%、東側3%
- ルーマニア : 西側39%、中間28%、東側4%
- チェコ : 西側37%、中間55%、東側3%
- スロバキア : 西側23%、中間46%、東側10%
- ブルガリア : 西側18%、中間27%、東側9%

（自国の価値が、EU、ロシアあるいは米国と一致していると回答した割合）

- オーストリア : EU74%、ロシア10%、米国25%
- ブルガリア : EU63%、ロシア71%、米国21%
- チェコ : EU62%、ロシア14%、米国32%
- スロバキア : EU62%、ロシア35%、米国23%
- ポーランド : EU60%、ロシア10%、米国42%
- ハンガリー : EU38%、ロシア36%、米国17%
- ルーマニア : EU36%、ロシア14%、米国22%

（国民投票が実施される場合、EUあるいはNATO残留を望む人の割合）

- ルーマニア : EU残留89%、NATO残留82%
- ポーランド : EU残留87%、NATO残留92%

ハンガリー : EU残留81%, NATO残留83%
 オーストリア : EU残留78%, 対象外 (NATO非加盟国)
 ブルガリア : EU残留78%, NATO残留56%
 スロバキア : EU残留71%, NATO残留56%
 チェコ : EU残留68%, NATO残留80%

(米国あるいはロシアが自国にとって脅威であると考えている人の割合)

スロバキア : 米国41%, ロシア26%
 オーストリア : 米国29%, ロシア37%
 ブルガリア : 米国25%, ロシア7%
 ルーマニア : 米国23%, ロシア58%
 チェコ : 米国20%, ロシア52%
 ハンガリー : 米国16%, ロシア31%
 ポーランド : 米国12%, ロシア77%

(中国が自国にとって脅威であると考えている人の割合)

チェコ : 脅威である48%, 脅威ではない50%
 ポーランド : 脅威である36%, 脅威ではない58%
 オーストリア : 脅威である36%, 脅威ではない57%
 スロバキア : 脅威である29%, 脅威ではない60%
 ハンガリー : 脅威である28%, 脅威ではない67%
 ルーマニア : 脅威である25%, 脅威ではない68%
 ブルガリア : 脅威である9%, 脅威ではない82%

◆政党支持率調査結果 (13日)

世論調査機関Focusによる6月の政党支持率調査の結果は以下のとおり。キスカ前大統領が設立した新党 (Za ľudí (人々のために)) の支持率は、6.2%と8位に位置するが、前後政党の支持率とは僅差である。

政党	Focus	2016年選挙
Smer-SD (方向・社会民主主義)	19.5%	28.3%
PS/Spolu(プログレッシブ・スロバキア/共に)	15.3%	—
LSNS (我々のスロバキア)	12.3%	8.0%
KDH (キリスト教民主運動)	7.5%	4.9%
SNS (スロバキア国民党)	7.0%	8.6%
SaS (自由と連帯)	6.8%	12.1%

Sme rodina（我々は家族）	6.6%	6.6%
Za ludi（人々のために）	6.2%	—
OLaNO（普通の人々・独立した人達）	5.9%	8.6%
Most-Hid（架け橋）	4.1%	6.5%

◆新大統領就任式（15日付大統領府プレスリリース及び17日付各紙）

15日、スロバキア初の女性大統領であるチャプトヴァー大統領の就任式が行われた。同大統領は就任式の演説において、外政に関してEUとNATOのメンバーシップの意義を強調した。また、市民の尊厳等の向上のために積極的に活動していく旨述べるとともに、少数民族等を含む全ての人々のための大統領になりたい旨強調した。

大統領の2人の娘の他、パートナーのコネチニー氏も就任式のほぼ全行程で同大統領に同行した。

就任式には、国会議員や閣僚の他、大統領選挙で落選した候補者も国会によって招待されたが、大統領選挙の結果に対して異議申し立てを行っているハラビン氏は就任式に出席しなかった。また、フィツォ・与党第1党Smer-SD党首も就任式を欠席した。

◆チャプトヴァー大統領のインタビュー（14日付経済新聞）

チャプトヴァー大統領は経済新聞の取材に対して以下のように述べた。

「自分は、これまで外政よりも内政に従事してきた。最近では外政について集中的にフォローしているが、元々外交畑の人間ではないので、司法制度や社会及び環境問題に親しみを覚えている。検事総長選出プロセスの改変を含む検察庁改革や、政治家による警察への影響力を断ち切るための警察改革が優先事項である。大統領は法律を変えることはできないが、そのための議論を促すことができる。」

「スロバキアが変化を必要としており、スロバキアが抱えている問題が与党第1党Smer-SDに関連しているのは確かなことである。他方で、大統領と首相が個人的な論争を避けることも重要である。この国の問題を解決するために、協力することが目標となるはずである。首相との論争を避けることにより、スロバキアが必要としている物事にエネルギーを費やすことができる。」

「スロバキア社会を統合することが、重要な課題の一つである。大統領選挙で自分に投票しなかった有権者にも、信頼してもらえようになりたい。他方で、価値に対しては忠実であり続けたい。例えば国民の一部の支持を得られなかったとしても、政治家は価値に対しては一貫した態度を取り続けるべきであり、ポピュリズムの波に乗るべきではない。」

「ロシアとの建設的な対話を行うべきであるが、自分はEUの対露制裁に賛成しており、また制裁を続けるべきであると考えている。」

◆キスカ前大統領による新党の設立（18日付スメ紙）

17日、キスカ前大統領は、バンスカー・ビストリツァにおいて、新党「人々のために（Za ľudí）」設立に関する記者会見を行い「新党は、地域格差、教育、医療及び環境問題に重点的に取り組むことになる。公約の詳細については、9月の党大会で公表する。」と述べた。また同前大統領は「（2020年総選挙で）成功するためには、野党SaS、OLaNO、KDH、PS/Spolu及びZa ľudíが、何らかの形で結びついて、共通のプログラムを作らなければならない」と述べつつ、選挙前に政党連合を形成する可能性については言及しなかった。

新党「人々のために」の主なメンバーは以下のとおり。

- (1) シェリガ (Mr. Juraj Seliga) 氏。2018年のジャーナリスト殺害事件以降に大規模反政府デモを主催した市民団体「正しいスロバキアのために (For a Decent Slovakia)」の元主要メンバー。
- (2) レデツキー (Mr. Vladimir Ledecsky) スピシュキー・フルホウ村長
- (3) ジトニャンスカー (Ms. Jana Zitnanska) 前欧州議会議員
- (4) ハタス (Mr. Marek Hattas) ニトラ市長
- (5) コラル (Mr. Miroslav Kollar) フルホヴェツ市長 (公共問題研究所 (IVO) 元所長)
- (6) コリーコヴァー (Ms. Maria Kolikova) 元副法務相
- (7) マルチンコヴァー (Ms. Vladimira Marcinkova) 前大統領府地域問題部長
- (8) メラヴィー (Mr. Tomas Meravy) 元マイクロシュ財務相顧問
- (9) ヴァラーシェク (Mr. Tomas Valasek) 前駐NATO大使
- (10) クルペラン (Mr. Roman Krpelan) 前大統領府報道官
- (11) バルコヴィチョヴァー (Ms. Lenka Balkovicova) ズヴォレン市長
- (12) ピヴコヴァー (Ms. Aleksandra Pivkova) ルチェネツ市長

外 政

◆ペレグリニ首相の訪露（5日及び6日付各紙）

5日及び6日、ペレグリニ首相はモスクワにおいてメドヴェージェフ露首相と、またサンクトペテルブルクにおいてプーチン露大統領と会談を行った。

ペレグリニ首相はメドヴェージェフ露首相との会談において、「スロバキアは開放経済を標榜しており、全ての国とバランスの取れた外交関係を維持する

ことが重要である。ロシアは、非EU諸国の中では、最も重要なパートナー国の一つである。」と述べ、スロバキアが広軌鉄道延伸計画を実現することに大きな関心を有していること、また総工費に関する国際市場での資金調達の可能性に言及した。メドヴェージェフ露首相は、「スロバキアは、ロシアのことを、エネルギー供給のパートナーとして信頼することができる。」と述べた。

また、ペレグリニ首相はプーチン露大統領との会談において、ノルドストリーム2（NS2）及びトルコストリームのスロバキアへの接続、ガス備蓄、戦闘機の修理に関する詳細について議論した。

◆ラシ副首相のノルマンディー上陸作戦75周年記念式典出席（5日付首相府プレスリリース）

5日、ラシ投資・IT化担当副首相は、英エリザベス女王、メイ英首相、トランプ米大統領、マクロン仏大統領、バビシュ・チェコ首相等とともに、英ポーツマスで行われたノルマンディー上陸75周年記念式典に出席した。ラシ副首相は「同上陸作戦には、チェコスロバキアの兵士及びパイロットも参加した。欧州で再び過激主義が台頭している中で、ファシズムと戦い命を落とした人々に思いを馳せることは重要である。」と述べ、英ブルックウッド墓地において、英国空軍のチェコスロバキア航空団に所属していたパイロットの墓碑及び慰霊碑に献花した。

◆康京和・韓国外交部長官のスロバキア訪問（7日付外務・欧州問題省プレスリリース）

7日、康京和・韓国外交部長官は、ブラチスラバにおいて「V4+韓国」外相会合に出席するとともに、ライチャーク外相と会談を行った。各外相は、朝鮮半島情勢、EU・韓国関係、ブレグジット及び欧州議会選挙後のEU情勢を含む、国際及び地域情勢について意見交換を行い、ライチャーク外相は、経済及び貿易だけでなく、高付加価値な投資、文化、教育及び開発支援を含む二国間関係の発展にも関心を示した。

また、本会談において、両国間のワーキングホリデー・プログラム協定が結ばれた。

◆チャプトヴァー大統領のブリュッセル訪問（26日付各紙及び大統領府プレスリリース）

26日、チャプトヴァー大統領はブリュッセルを訪問し、ユンカー欧州委員長、ストルテンベルグNATO事務総長、フィリップ・ベルギー国王等と会談を行った。同大統領は、自身の優先順位の高い問題として、正義、法の執行、

気候変動を含む環境問題、社会的正義に言及した。また、チャプトヴァー大統領は、NATOがスロバキアの安全保障の主要な柱であるとし、2022年までに国防予算をGDP比2%まで引き上げることを約束した。

経 済

◆平均賃金の上昇（7日付経済新聞）

スロバキア統計局によると、2019年第1四半期の平均名目賃金（月額）は、前年同期比で7.1%上昇し、1023ユーロに達した。また、スロバキアの第1四半期のGDP成長率は3.7%であり、EUで8番目に高い数値となっている（EU平均は1.5%）。県別及び部門別の平均賃金は以下のとおり。

（県別の平均賃金（括弧内は前年同期比での上昇率））

- （1）ブラチスラバ県：1310ユーロ（5.4%）
- （2）トルナバ県：965ユーロ（7.9%）
- （3）トレンチーン県：958ユーロ（7.3%）
- （4）コシツェ県：928ユーロ（7.8%）
- （5）ジリナ県：907ユーロ（7.0%）
- （6）バンスカー・ビストリツァ県：868ユーロ（9.0%）
- （7）ニトラ県：849ユーロ（8.4%）
- （8）プレショウ県：777ユーロ（9.3%）

（部門別の平均賃金（括弧内は前年同期比での上昇率））

- （1）金融・保険：2021ユーロ（6.1%）
- （2）情報・通信：1886ユーロ（1.1%）
- （3）行政（public administration）・防衛：1367ユーロ（11.3%）
- （4）鉱工業：1102ユーロ（5.9%）
- （5）医療・社会支援：1028ユーロ（10.1%）
- （6）交通・物流：1024ユーロ（5.3%）
- （7）教育：960ユーロ（13.6%）
- （8）卸売・小売：927ユーロ（7.9%）
- （9）管理サービス（administrative services）：884ユーロ（3.8%）
- （10）宿泊・飲食：572ユーロ（8.5%）

◆失業率の低下（スロバキア労働・社会問題・家族省の統計データ）

5月の失業率は、4.88%（登録ベース）と前月より0.02%低下した。

スロバキア労働・社会問題・家族省の統計データ（郡別の失業率）は以下のとおり。

（１）失業率が低い地域

トレンチーン郡（トレンチーン県）： 1. 7%

シャリャ郡（ニトラ県）： 1. 8%

ブラチスラバ5区（ブラチスラバ県）： 1. 9%

フロホヴェツ郡（トルナバ県）： 1. 9%

ピエシュチャニ郡（トルナバ県）： 2. 0%

ガランタ郡（トルナバ県）： 2. 0%

（２）失業率が高い郡

リマウスカー・ソボタ郡（バンスカー・ビストリツァ県）： 16. 0%

ケジュマロク郡（プレショウ県）： 15. 3%

レヴーツァ郡（バンスカー・ビストリツァ県）： 13. 9%

ロジュニャバ郡（コシツェ県）： 13. 8%

ヴラノウ・ナト・トプリヨウ郡（プレショウ県）： 12. 7%

トレビショウ郡（コシツェ県）： 11. 4%

（了）

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

